

皆様へのメッセージ

宗谷の学校、人づくりのために

宗谷管内教育委員会連絡協議会長
小川 俊輝

皆様には宗谷管内の学校教育推進に多大なご尽力をいただいておりますことに心から敬意と感謝を申し上げます。

市町村立学校を円滑に運営するうえで、教頭先生の存在は欠かせないものですが、管内では自前で人材を充足することが年々難しくなってきました。

教育の第一線で長年にわたり活躍されてきた皆様には、是非とも次のステージへステップアップされ、その経験と知識とノウハウを引続き生かしていただきたいと願っています。

管理職の立場で見る学校は、また違った景色が見えると言われています。

学校全体を見る「視点」が変わることと、若い教員を育成する「人づくり」に新たな喜びを感じられる方もおられます。

どうか、脈々と受け継がれてきた「宗谷の教育」「学校づくり」「人づくり」のため、教頭職を前向きに検討していただきますよう切にお願い申し上げます。



宗谷の教育を持続可能にするために

宗谷校長会長
塩原 悟

自分はどのようにして管理職になったのだろうか？現在、校長、教頭職に就いている多くの方は、自校や先輩の管理職に「そろそろ教頭昇任選考を受けてみないかい？」と勧められて受検した人が多いと思われる。

私は、よほど頼りない教員であったのかそのような勧奨はなく、自分の意思で教頭受検を決意したのを覚えている。当時、稚内東小学校の教務部長であったが、20代30代の教員が圧倒的に多く40代50代はわずかであった。学年2学級から3学級であったが学年部長は、20代後半から30代前半、分掌部長は、30代後半から40代前半と若い先生方が学校の原動力となって教育活動を担っていた。

そんな学校を俯瞰し、40代後半であった自分はどうかあるべきかを考えたとき、自分は、学校を運営する立場で力を発揮すべきだと感じた。

宗谷の教育を持続可能なものにするためにぜひ皆さんの力を貸してください。宗谷に必要な人材は宗谷から生み出しましょう！

学校の幸せを支える存在に

宗谷公立学校教頭会長
小棚木 秀行

第4期教育振興基本計画で示されている「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」。ウェルビーイングとは、身体的・精神的・社会的に良い状態にあることをいい、短期的な幸福だけでなく将来にわたる持続的な幸福も含むものです。

子どもたちのウェルビーイングの向上には、教師のウェルビーイング確保も必要とされています。そのために「子どもたちの成長実感」「保護者・地域との信頼関係」「職場の心理的安全性」「良好な労働環境」といった視点で学校や教職員の状況を改善していくことが求められます。

この教師のウェルビーイング確保の中心となる存在が教頭です。みなさんは、これからもそれぞれの職場でより良い学校づくりを進めるために、今まで積み重ねてきた経験や実践を最大限に発揮して下さるかと思いますが、その際に「教頭として」という選択肢も積極的に選んでいただけたら幸いです。

子どもたちの、先生たちの、そして自分自身の「ウェルビーイング」実現を目指して、ぜひ私たちと一緒に頑張りましょう。

子どもの未来保障のために

北海道教育庁宗谷教育局長
笠井 浩

ミドルリーダーの皆様には、日頃から、管内の子どもたちの健やかな成長に向けて、学習指導や生徒指導の充実に力を発揮していただき、ありがとうございます。

さて、宗谷管内では、ここ数年、教頭昇任候補者選考の受検者が少なく、今後も、このような状況が続くと、学校運営に支障をきたしてしまうことが懸念されるところです。

教頭先生は、子ども一人一人への深い愛情のもと、校長先生の経営方針に基づき、学校教育目標の具現化に向けて、教職員や地域と協働して、企画・提案・調整・推進する「学校の要」であり、子どもの未来保障の取組を進める上で欠かせない存在です。

宗谷教育局としては、教頭先生の働きやすい環境づくりを推進してまいりますので、ミドルリーダーの皆様には、教頭昇任候補者選考に進んでチャレンジしていただき、子どもの未来保障の取組を次代に確実につないでいただきたいと願っています。

よろしく申し上げます。

